



岳南朝日新聞社  
〒418-0033 富士宮市野中東町146-1  
代表 (0544) 28-0200  
FAX (0544) 28-0218  
編集 (0544) 28-0234  
営業 (0544) 28-0220  
月977円 1部60円

優しさと美しさを創る  
**アコレ株式会社**  
富士宮市万野原新田三三三六八  
TEL 0544-166-1336  
http://www.acore-puff.com

購読申し込み先  
●吉原(0545) 植草新聞店 ☎5200370 安倍新聞店 ☎713327  
●富士宮(0544) 鈴木新聞店 ☎2632855 SHC南野店 ☎718156  
●星野新聞店 ☎620376 望月新聞店 ☎712647  
●中野新聞店 ☎233333 ●富士(0545) 石井新聞店 ☎811333  
●勝亦新聞店 ☎261000 雨森新聞店 ☎615049  
●SHC南野店 ☎262543 田畑新聞店 ☎610011 佐野新聞店 ☎852099  
●中西新聞店 ☎281133 星野新聞店 ☎610275

# 真壮にみこし神田川昇り

## 富士山御神火まつり 観客から大きな歓声

富士宮市の夏を彩る学生から一般まで多く第40回御神火まつりが市民が参加し、真夏の暑さに負けず「富士宮音頭」などに合わせ間大社を中心に行われ、御神火まつりは1979年に富士宮青年会が昇り、夕闇の中で赤く燃える御神火とともに「太鼓と踊りと民謡」に多くの観客を魅了し、宮おどりは小・中をベースに、翌80年からスタートした。当日は富士山頂にある同大社奥宮でとられた「御神火」が同大社へと渡り、祈願祭、式典などが行われた後、駐車場に特設された大きな富士山型の台に火がともされた。引き続き、白装束の内各種団体がそれぞれなかにパレード。また、みこし8基は拝殿前から富士宮市消防本部消防署の協力で、盛大な水しぶきが吹き上がる参道を通り、点火台から御神火をいだいた後、街なかへと繰り出すと、水鉄砲を持った子供やバケツを抱えた市民から水を掛けられて歓迎された。日が落ちた後は、同大社駐車場であトラクシオンや市内在住の演歌歌手らの歌謡ショー、富士宮民謡会を中



威勢の良い掛け声とともに神田川を昇る

心にした盆踊りなどを展開。市民はショーや踊りを見学したほか、みこしの上で御神火と共に立つ4〜5人の女性たちがそれぞれの掛け声で周囲をあおり、担ぎ手以外のメンバーが川の水を観客にかけるとして多くの観客を魅了した。

## 宮おどりに550人

「第28回宮おどり」は、富士山本宮浅間大社周辺の中心市街地で開幕。小・中学生と一般市民ら約550人が「宮おどり」などの曲に合わせて、躍動感あふれる踊りを繰り広げた。小・中学生部門は熱中対策として踊りの時間を短縮し、小学生が第1クール、中学生が第2クール、中学生が第1、第2クールの真徳教育長は「皆さんはこの日のために一生懸命練習してきたと思う。13校が一致団結して盛り上がり、最後まで精いっぱい踊りましょう」と力強く開会宣言した。その後、宮おどり実行委員長を務める河原崎信幸富士宮商工会議



躍動感あふれる踊りを披露する中学生

懸命練習に励んできた。それぞれの学校で工夫を凝らした踊りを楽しみにしています」とあいさつ。引き続き、富士根南小学校5年の稲葉優さんが「皆さんの稲穂優さんが「皆さんの稲穂優さんが」にたくさん練習してきたと思う。13校が一致団結して盛り上がり、最後まで精いっぱい踊りましょう」と力強く開会宣言した。その後、宮おどり実行委員長を務める河原崎信幸富士宮商工会議から参加者の協賛品

## 著名人絵付けの起き上がりこぼし25体展示

きょうまで富士宮市役所で世界的に有名な日本のデザイナー・高田賢三氏(KENZO)が代表を務める「起き上がりこぼし」プロジェクトの「起き上がりこぼし」の富士宮展が6日まで、富士宮市役所1階市民ホールで開かれ、スペインのグラフィックデザイナーである富士宮市半野に住



（左）起り明さん説明、（右）さきさきの須藤市渡からこぼ

り上げた。引き続き、趣向を凝らした華やかな衣装やフランスの俳優アラン・ドロン、ジャン・レノなど世界の著名人が絵付けした起き上がりこぼし25体が来庁者の注目を集めている。同プロジェクトは東日本大震災復興への想いを形にするため、まちエールノブイリ原発事故が世界で活躍する起りこぼしに、福島で原発事故が起ってしまった。2度と原発事故を起さないために、福島を後世に伝えていかなければならない」と力を込めた。

中高生と交流した富士宮高校会議所のメンバーも訪れ、交流の際にも「おこぼしは負けない」と描かれたに、渡邊さんに「東日本大震災の被災者の方々の思いは、常に忘れていません」と話した。

**宮崎クリニック**  
受付時間 月火水木金土日  
AM: 9:30~12:00  
PM: 2:30~6:00  
〈消化器内科・内科〉 院長 宮崎 裕  
・日本肝臓学会認定 肝臓専門医  
・日本消化器病学会認定 消化器病専門医  
・日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医  
〈産婦人科〉 副院長 宮崎 千恵子  
・日本産婦人科学会認定 産婦人科専門医  
・日本乳がん検診精度管理中央機構認定  
マンモグラフィー読影認定医・撮影認定医  
☎0545-66-3731 富士市松岡300-15 身延線聖橋駅西側 徒歩3分

▽6日「淀橋区民館」駐車場(10時)10時30分、西保育園(10時45分)11時30分、あすなろ園(9時45分)10時15分、栗倉保育園(10時30分)11時、富士根北小学校(14時30分)16時